

# 医療通訳基礎技能認定試験

## 試験の形式・構成について

### 1 次試験

1 次試験は、【筆記試験】と【リスニング試験】の 2 科目を行います。

	試験科目	出題方法	出題数	試験時間
①	筆記試験	四者択一式、選択式	50～60 問程度	60 分
②	リスニング試験	選択式、記述式	30 問程度	約 20 分

### ① 筆記試験

#### 試験の形式



- 出題形式は、四者択一式、選択式です。
- 設問は、[日本語] と [英語/中国語] で出題されます。
- 出題数は、50 問～60 問程度です。
- 試験時間は、60 分間です。

#### 試験の構成



出題範囲	細目	出題数
○医療の基礎知識	医学概論、身体の仕組みと働き、疾患の基礎知識、検査に関する基礎知識、薬に関する基礎知識 等に関する設問 ※医療現場で行われる会話を正確に理解するために、各器官の名称や器官の仕組み、働きを理解し、主な疾患の原因と症状、治療方法についての基本的な知識を問うものとする。 ※診療所、一般病院などで使用される範囲とする。	25 問程度
○日本の医療制度に関する基礎知識 ○患者の文化的および社会的背景についての理解	日本の医療制度の特徴、日本に暮らす外国人の現状、外国人医療の現状、外国人の在留資格と滞在ビザ 等に関する設問	5 問程度
○医療通訳理論 ○医療通訳者の自己管理 ○専門職としての意識と責任（倫理） ○医療通訳者のコミュニケーション力 ○通訳に必要な通訳技術 ○通訳実務	医療通訳者の役割、医療通訳者の健康管理、感染症と感染経路、医療通訳者の心の管理、医療通訳者の行動規範、コミュニケーション・異文化コミュニケーション、ノートテイキングの理論と技術、情報収集方法（用語集の作成と情報収集）、医療通訳業務の流れと対応、通訳者の立ち位置とその影響 等に関する設問	10 問程度
○言語能力	[日本語] および [英語/中国語] の文法・語彙に関する設問	20 問程度

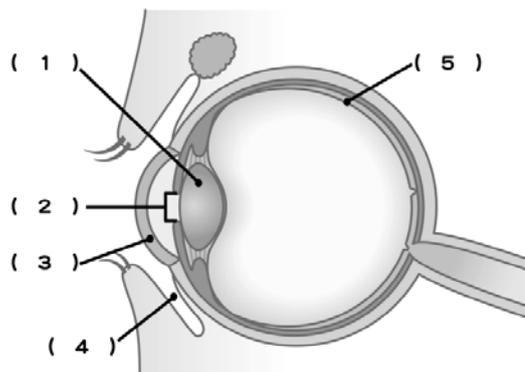
※出題数は、試験の実施回により多少変動します。

過去問題例

この過去問題例は、筆記試験の過去の出題内容から一部を抜粋したものです。

**問題** The picture below shows the structure of the eye. Please choose the best combination of terms for items 1-5. (英語 問題)

下图为眼睛的结构图。请选择一组与图中(1-5)名称恰当的组合。(中国語 問題)



<英語 選択肢>

- A) 1 : pupil    2 : cornea    3 : lens    4 : conjunctiva    5 : retina
- B) 1 : lens    2 : cornea    3 : pupil    4 : retina    5 : conjunctiva
- C) 1 : lens    2 : pupil    3 : cornea    4 : conjunctiva    5 : retina
- D) 1 : cornea    2 : pupil    3 : conjunctiva    4 : retina    5 : lens

<中国語 選択肢>

- A) 1 : 瞳孔    2 : 角膜    3 : 水晶体    4 : 結膜    5 : 視網膜
- B) 1 : 水晶体    2 : 角膜    3 : 瞳    4 : 視網膜    5 : 結膜
- C) 1 : 水晶体    2 : 瞳孔    3 : 角膜    4 : 結膜    5 : 視網膜
- D) 1 : 角膜    2 : 瞳孔    3 : 結膜    4 : 視網膜    5 : 水晶体

**問題** 糖尿病の3大合併症とされている症状の組み合わせとして、適切なものをA～Dの中から一つ選び、記号を書きなさい。(英語・中国語 共通問題)

- A) 網膜症・腎症・神経障害
- B) 脳梗塞・動脈硬化・腎症
- C) 網膜症・動脈硬化・心筋梗塞
- D) 脳梗塞・心筋梗塞・神経障害

**問題** 平成24年の法改正により、日本に滞在する外国人の国民健康保険への加入要件が変更になった。現在は、在留資格が何ヵ月を超える外国人が加入することができるか。適切なものをA～Dの中から一つ選び、記号を書きなさい。(英語・中国語 共通問題)

- A) 3ヵ月    B) 6ヵ月    C) 12ヵ月    D) 24ヵ月

**問題** 「言葉の媒介者」として、医療通訳者はどのような通訳を行うことが望ましいか。適切なものをA～Dの中から一つ選び、記号を書きなさい。（英語・中国語 共通問題）

- A) 話し手の言葉を1語1句、逐語的に訳すこと
- B) 話し手の言葉を正確に理解して忠実に訳すこと
- C) 話し手の言葉を簡潔に分かりやすく訳すこと
- D) 話し手と聞き手の知識の差を埋めるための補足を加えながら訳すこと

**問題** In order to fill in the blanks of sentence below, select the best choice from among A to D.  
(英語 問題)

This prescription is ( ) for only four days, so please go to a pharmacy soon enough.

- A) expire B) good C) void D) within

**問題** 选择最恰当的词填空。（中国語 問題）

给你 ( ) 了过敏性皮炎的涂药。

- A) 吃 B) 发 C) 开 D) 打

**問題** ( ) に入れる言葉として、適切なものをA～Dの中から一つ選び、記号を書きなさい。  
(英語・中国語 共通問題)

体調 ( ) 当分は運動は控えてください。

- A) はさておき
- B) をかまわず
- C) にしては
- D) にかかわらず

## ② リスニング試験

### 試験の形式



- 出題形式は、選択式、記述式です。
- 設問は、[日本語] と [英語／中国語] で出題されます。
- 出題数は、30 問程度です。
- 試験時間は、20 分程度です。

### 試験の構成



リスニング試験は、以下の問題Ⅰ～Ⅲの三部構成になっています。

問題	内容	出題数
問題Ⅰ	患者に対する医師の説明を [日本語] で聞いて、[英語／中国語] の設問に回答する問題	10 問程度
問題Ⅱ	患者の発話を [英語／中国語] で聞いて、[日本語] の設問に回答する問題	10 問程度
問題Ⅲ	単語の聞き取り問題 ([日本語]、[英語／中国語])	10 問程度

※出題数は、試験の実施回により多少変動します。

#### 備考：

- ・リスニング試験の音声は、1 度のみ放送されます。
- ・問題文、設問とも、音声で放送されます。
- ・設問の放送を聞いた後に、解答用紙に記入する時間があります。

## 2次試験

2次試験は、【コミュニケーション言語能力試験】と【対話通訳試験】の2科目を行います。

	試験科目	出題方法	出題数	試験時間
①	コミュニケーション言語能力試験	対面式	1題	全部で 30分程度
②	対話通訳試験	対面式	1設定	

### ① コミュニケーション言語能力試験

#### 試験の形式



- 受験者と試験官の対面式で実施します。
- 設定されたシチュエーションに従い、試験官と対話を行います。

#### 試験の構成



#### 試験内容

- ① 試験官から、シチュエーションの「設定」についての説明が行われ、資料が配付されます。
- ② 「設定」に従い、試験官と対話を行います。

※実施時間：10分間程度（「設定」の内容により所定の制限時間があります）

#### <過去に出題されたテーマ>

- ◎ 人間ドックの予約
- ◎ 問診

#### 備考：

- ・試験中、指定のメモ用紙にメモを取ることができます。
- ・試験中、辞書・資料を使用することはできません。

#### 評価基準

コミュニケーション言語能力試験は、CEFR（Common European Framework of Reference）の共通参照レベル（A1～C1）に基づいて評価されます。

※テキスト「医療通訳」P44～45に「CEFR 共通参照レベル」が掲載されています。

## ② 対話通訳試験

### 試験の形式



○ 受験者と試験官の対面式で実施します。

※試験官：2名・・・外国人患者役 [英語／中国語] 担当1名 医師役 [日本語] 担当1名

○ 医師役と外国人患者役の試験官が行う診療場面での対話を、受験者が逐次通訳します。

### 試験の構成



#### 試験内容

○ 実際の通訳実務場面と同様に、医師役と外国人患者役の対話の内容に沿って受験者が逐次通訳を行います。

※主として【一次医療機関】での対話場면을想定しています。

※実施時間：8分間程度（シナリオの内容により所定の制限時間があります）

#### <過去に出題されたテーマ>

- ◎ インフルエンザの患者の受診
- ◎ 狭心症の疑いのある患者の受診

備考：

- ・試験中、指定のメモ用紙にメモを取ることができます。
- ・試験中、辞書・資料を使用することができます。

#### 評価基準

通訳行為	忠実性/正確性 起点言語に正確である	言語的内容を正確に理解し、適切に反映した訳出である (情報の抜けや追加がないこと) 文法的間違いがない 専門用語を正しく理解し訳出している
	明瞭さ 通訳言語として聞きやすい	簡潔で明瞭である 聞きやすいイントネーションやアクセントである
	等価 話し手の意図が反映されている	発話者の意図を正確に理解し、適切に反映した訳出である
	通訳技能	適切なノートテイキングができる
コミュニケーション行為	コミュニケーションとしての成功	非言語コミュニケーション（話し方と態度）は適切である 適切なタイミングで通訳できる 必要に応じて適切な対処ができる

※テキスト「医療通訳」P189「通訳パフォーマンスの評価」を基準としています。